



2022年1月14日

各位

会社名 AHCグループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 荒木 喜貴
(コード番号：7083 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 経営管理部長 武藤 輝一
(TEL 03-6240-9550)

2021年11月期通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2021年7月9日に公表しておりました2021年11月期(2020年12月1日～2021年11月30日)の通期業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想と実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,256	百万円 △141	百万円 34	百万円 △16	円 銭 △7.93
実績値(B)	4,114	△234	39	1	0.63
増減額(B-A)	△141	△92	5	17	
増減率(%)	△3.3%	—	14.8%	—	
(ご参考)前期実績 (2020年11月期)	4,086	106	197	102	51.98

2. 個別業績予想と実績との差異

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,215	百万円 △112	百万円 △106	円 銭 △50.78
実績値(B)	2,138	△63	△62	△30.07
増減額(B-A)	△76	48	43	
増減率(%)	△3.5%	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年11月期)	2,124	2	△24	△12.56

3. 差異の理由

(1) 2021年11月期通期連結業績

新型コロナウイルス変異株の感染拡大による4回目の緊急事態宣言の再発出を受け、福祉・介護事業では施設利用のキャンセルの増加、新規事業所の立ち上がりの遅れにより利用者数が計画に対し減少し、売上高が福祉事業で1.7%の減少、介護事業で2.4%の減少となりました。また、外食事業では居酒屋店舗にて緊急事態宣言期間中は休業、まん延防止等重点措置期間及びりバウンド防止措置期間は時短営業を行ったため、計画に対し売上高15.3%の減少となり、予想数値を下回る結果となりました。

営業利益につきましては、前記理由に加え、外食事業で休業・時短営業期間中も人件費を始めとした固定費が継続して発生したため、予想数値を下回る結果となりました。

経常利益につきましては、雇用調整助成金、感染防止協力金等の給付金を241百万円計上したため、予想数値を上回る結果となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、所有していた不動産物件を3件売却し、固定資産売却益を31百万円計上したため、予想数値を上回る結果となりました。

(2) 2021年11月期通期個別業績

連結業績予想の差異の理由と同様、福祉事業では施設利用のキャンセルの増加、新規事業所の立ち上がりの遅れにより利用者数が計画に対し減少し、売上高2.5%の減少となりました。また、外食事業では居酒屋店舗にて緊急事態宣言期間中は休業、まん延防止等重点措置期間及びりバウンド防止措置期間は時短営業を行ったため、計画に対し売上高18.6%の減少となり、予想数値を下回る結果となりました。

経常利益につきましては、雇用調整助成金、感染防止協力金等の給付金を208百万円計上したため、予想数値より赤字幅が減少する結果となりました。

当期純利益につきましては、所有していた不動産物件を3件売却し、固定資産売却益を31百万円計上したため、予想数値より赤字幅が減少する結果となりました。

以上